

令和4年度 第3回 引佐北部小中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月24日（木） 14時35分から16時40分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 図工室
- 3 出席委員 夏目 稔三、西岡 祥一、五十川亜純、鈴木 知成、池田信子、西本 有一、
山本 培代、廣瀬 稔也、池本 知充、鈴木 計芳
- 4 欠席委員 加藤 隆康、小林 成彦、岡部 裕子
- 5 学 校 遠藤 健司（校長）、山下 剛功（教頭）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 校長あいさつ
 - (3) 議長選出
 - (4) 前回議事録確認
 - (5) 熟議
議長：山本 培代委員
【1】本校の特色化・魅力化について 教頭
【2】図書館開放について 教頭
【3】CSだよりについて 教頭
 - (6) 連絡事項 教頭
 - (7) 市教委より
- 9 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数13人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。（2人は遅れての出席）

(1) 西岡副会長あいさつ

参観日だったので、各教室の様子を見ることができた。

(2) 校長あいさつ

教育課程が順調に進んでいる。12月も行事は目白押しだが、通常の授業を子供も教師もよくがんばっている。先日の小規模校の研究授業で、4年と9年の合同授業を行い、参加された先生方からよい評価をいただいた。今後も本校の特色化。魅力化を進めたい。

(3) 議長の選出について

今回の議長を山本培代委員に依頼し、全員異議なくこれを承認した。

(4) 前回議事録確認

前回の会議録の資料を各自で見てくださいようお願いした。

(5) 熟議

【1】本校の特色化・魅力化について

- ・資料P5~12でふるさと科と国際コミュニケーション科を説明。特に国際コミュニケーション科について、9年間を通しての流れを記した。10周年記念誌にも特色を表した。(教頭)
- ・英語を書く話すだけでなく真の国際人を目指すためにどんなことをしているのか(廣瀬委員)
- ・一例として12月13日の3, 4校時に8, 9年生が英語での発表の時間を予定している。これには高校の留学生も招待して交流を図ることにしている。時間のご都合が合えば是非ご参観ください。(校長)
- ・内容を知ることができて良かった。言語とは別に社会情勢を学習する面はどうか。専門家や留学生、海外に住む人など、今はオンラインでつながることができるので授業に取り入れて欲しい。今活動している人の話を聞くことは、子供にとっていい刺激になる(廣瀬委員)
- ・良い案である。時間の制約があり今年ではできないが、このメンバーからアイデアやいい情報をぜひいただきたい。(校長)
- ・みさとパビリオンでは一人一人が発表に時間を持ってできたことは良かった。パソコンをうまく使いこなしていた。しかし内容がネットで調べたことをそのまま発表していたようで、中身に深さを感じられなかった。もう一步踏み込んで自分の足で調査して欲しかった。9年生が地域の人へ呼びかけていたが、空疎感を感じた。(廣瀬委員)
- ・地に足が付いていない発表が多いと感じた。1年生でとても良い発表をしていた児童があり、質問にも自分の言葉で答えていた。研究の幅は狭くても深く調べることもいい。(西岡委員)
- ・最終発表までの教育課程が示されていないので、何を手助けすべきかが分からない。たとえば4年生が紙すき体験をするが「きりやま」とはつながっていない。(夏目委員)
- ・中学生が地域の人と話し合うことで、自分たちだけではできないところを自覚して、次のステップへつなげたいと考えていたが、時間の制約に阻まれた。この場で意見をいただけることがありがたい(校長)
- ・世界はつながっている。海のプラスチックゴミは陸の奥から流れていることを学んで欲しい。(廣瀬委員)
- ・国際化ときりやま販売をつなげられないか。地域行事の恵比須講や二十四節気など学習するチャンスは多い。(夏目委員)
- ・棚田の田植えや稲刈りの体験だけでなく、食べるごはんからさかのぼって流れを学習するのもいいのではないか。ふるさと科を体験でなく授業で学習する方向もある。田の水は海に流れ込む。(西本委員)
- ・お茶も体験から発展する活動をさせたい。パビリオンで議論できたら良かった。(鈴木委員)
- ・体験活動で子供にどんな力をつけさせたいのか? 先生方がどのように理解しているのかが疑問。(西岡委員)

【2】図書館開放について

- ・一般向けの貸し出しを始めた経緯は過去の議事録で理解できるが、学校の図書館補助員は子供のための仕事をする職員なので、一度見直しをしたい。(教頭)

- ・地域の人向けの図書館として、業務を請け負うボランティアを頼むことも考えられるが、現在利用者は少ない状態。(廣瀬委員)
- ・地域性として、本に親しむ人は少ない。しかし知的活動を続けることで、生涯を通して本に親しむ習慣を持つことができるのではないか。(五十川委員)
- ・みさとしゃべり場さんに地域の本や大人向けとしての蔵書を受け入れてもらう案はどうか。安心安全面からは学校に知らない他人が入ってくることは問題がある。サロンの場をコーディネーターに探してもらうよう依頼したい。(夏目委員)
- ・CSが始まるに当たって、学校を身近に感じてもらうように図書館開放が始まった経緯がある。(廣瀬委員)
- ・大きい問題点として、大人向けの蔵書が少ない、貸し出し時間が限られている。(山本委員)
- ・学校内だけで解決しようとするのが難しい。健全育成会が関わって行けたらいいのではないか。(夏目委員)
- ・開かれた学校は人の出入りがある学校ではない。外へ発信することも開かれた学校になる。外部の人を集めることは大変なこと。すでに人がいるところへ出かけていくことはどうか。(西本委員)
- ・愛光園や小さい子供のサークルへ、児童生徒が読み聞かせに出かけていくことはどうか。学校の活動として宣伝もできるのでは？ (五十川委員)
- ・学校を身近に感じてもらうには、子供が動いているところを見せることが有効。大人の行動にはあまり意味がない。完走大会を渋川や久留女木で開催というのはいかがか。(西岡委員)
- ・「移動(出張)いなほく」の提案。渋川、久留女木では子供の姿を見ないので住民へのアピールとして喫緊の課題と考える。(夏目委員)
- ・渋川、久留女木地域へは学年ごとに体験として出かけている。それ以上のことを担任がするのは現状では無理。移動の完走大会も案としてはいいが、莫大な労力が必要になる。(校長)
- ・図書館開放から話題がそれたが、一旦一般開放は休みとする。(山本委員)

【3】CSだよりについて

- ・現在のコミスクだよりは地域の情報誌のようになっている感もあるので、一度整理したい。「CSだより」は学校運営委員会の内容を伝えるものなので、そこに特化し、CSディレクターが作成するように提案した。(教頭)
- ・現在のコミスクだよりは大変有意義で、多方面から好評をもらっている。継続の方向でいきたいが、上質な紙を使っているので予算をどこから取るかを考える必要がある。健全育成会から調整も考えられる。(夏目委員)
- ・「鎮玉みらいしんぶん」に入れてもらうのはどうか。(西岡委員)
- ・幼稚園の記事も載せて欲しい。(五十川委員)
- ・地域の機関誌は地域で作っていきたい。「ひずるしい鎮玉」に便乗するのは難しい。今までのコミスクだよりは名称変更して残す方向で考えていく。(夏目委員)
- ・現案通りで良いと思う。別の形の出し方は地域学校協働本部の今後の検討事項としたい。(廣瀬委員)

(6) 連絡事項（教頭）

- ・ 次回の協議会は令和5年2月17日（金）に本校図工室で行う。
- ・ 次年度以降の委員について、人数は減らしていく方向で検討中。3年の期限を迎えるので新しい委員の推薦をお願いしたい。継続する委員も必要。
- ・ 次回の熟議内容として、次年度の学校経営方針の原案を出す予定。
- ・ 自己評価用紙を配布したので、次回までにご記入ください。

(7) 市教委総務課小川氏より

- ・ 熟議が活発で学校と児童生徒に関心を寄せていただいていることがよくわかる。みなさんで学校を支えていますよと言うことを、地域に発信して協力を仰ぐことを目的としているので、今後も熟議検討をお願いしたい。